

國學院大學學術情報リポジトリ

助詞「まで」の「含む」「含まない」解釈について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 國學院大學国語研究会 公開日: 2025-06-02 キーワード (Ja): 副助詞, 順序, 序列, 時間, あいまい文 キーワード (En): 作成者: 安食, 次暁 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001704

助詞「まで」の「含む」「含まない」解釈について

安食 次暁

キーワード：副助詞、順序、序列、時間、あいまい文

1 助詞「まで」の解釈

時間的限界点を表す助詞「まで」には、前接語をかかり先の述語（以下、後接述語）が表す事態成立の範囲に「含む」解釈と「含まない」解釈がある。（１）は「含む」解釈、（２）は「含まない」解釈である（例文の出典がないものは筆者による作例である）。

- （１）４月まで公開されていたと思うのですが、５月は上映されていないのでしょうか？

【BCCWJ：OC01_00310 810 Yahoo! 知恵袋 Yahoo! 2005】

- （２）入園までの間、子供を見てくれる人がいないんですがその場合は民間の託児所にでも預けて４月まで乗り切るんでしょうか？

【BCCWJ：OC10_04618 1110 Yahoo! 知恵袋 Yahoo! 2005】

たとえば、（１）では、４月を含んでおり、「４月いっぱいまで」公開されていると解釈される。一方、（２）では、４月を含んでおらず、「４月になるまで」乗り切ると解釈される。

なぜ前接語を「含む」場合と「含まない」場合があるのだろうか。また、どのような場合に、それぞれの解釈ができるだろうか。本稿は、前接語に着目して、この２つの問題を明らかにすることを目的とする。

従来、助詞「まで」の「含む」「含まない」の問題は、後接述語が否定表

現の場合について多く注目されてきた（木村（1983,1984）、東郷（1985）、塩田（2005）、森（2010）、北澤（2017））。否定表現の場合、対応する肯定表現が2種類あることに応じて解釈が分かれている、とされる。たとえば、次の否定表現（3）には、肯定表現（4）（5）が対応する。

（3）5日まで休まない。

（4）5日まで休む。

（5）5日までに休む。

この（4）（5）の2種類が、後接述語が否定表現の場合の「含む」解釈と「含まない」解釈とに対応しているという。（4）の否定は、①休んでいる日は5日より前に終わらせる予定、という解釈が可能で、「休まない」という事態と「5日」が重なるので、「含む」解釈とされる。（5）の否定は、②5日より前は働いていて、休むことはない、という解釈が可能で、「5日」には「休まない」ので、「含まない」解釈である。すなわち、対応する肯定表現が「までに」の場合に、「含まない」解釈ができるというのが、否定表現の場合についての先行研究である。

しかし、「まで」の肯定表現に対して、否定表現が2種類あるということはない。そのため、肯定表現について扱う場合は、この否定表現についての研究の観点（対応する肯定表現の違いに着目する）と別の観点を検討する必要がある。

なお、本稿では、時間的限界点を表す「まで」について扱うため、いわゆる「空間用法」「程度用法」や「取り立て用法」は扱わない。

2 なぜ「含む」「含まない」解釈が生じるのか

2.1 先行研究の観点と問題が生じる範囲

肯定文のこの問題について本稿とは異なる観点で考察しているのが、定延（2022）である。

定延（2022）は、日本語母語話者の時間認識はモノとデキゴトの認知と関

係があり、大規模な時間単位はモノ、小規模な時間単位はデキゴトの目盛として認知されていると説明し、この問題について触れている。定延（2022）は、表1のように、大規模な時間単位（N- 大規模類）と小規模な時間単位（N- 小規模類）を分類している。

【表1】 N- 大規模類と N- 小規模類

（N：自然数） ※1 日常生活のルースな感覚は除外。ロケット打ち上げの時刻などを想定。

	「N- 大規模類」	「N- 小規模類」
例	「±N 世紀」「N 年」「N 月」 「第 N 週」「(第) N 日」 「N 回」「N ラウンド」	「N 時」「(N1時) N2分」 「(N1時 N2分) N3秒」
計測ツール	年表・カレンダー等	時計
時間幅	有	無 ※1
初期値	1	0

【定延（2022）】

定延（2022）は、この大規模な時間単位と「まで」を用いたときに、2種の解釈が生じると考えている。（6）は定延（2006）に紹介されるあいまい文（両義文）である。

（6）その学校は、9月まで夏休みだ。【定延（2006）】

定延（2022）には、『その大規模類の最後の一瞬が終期』なのか（モノ）、それとも『その大規模類の開始直前が終期』なのか（デキゴト）という曖昧性が生じる」という説明がある。すなわち、時・分・秒などの小規模な単位と違って、大規模な時間単位である「9月」は、「9月いっぱいまで夏休みだ」というように、モノとして認知される解釈と、「9月になるまで夏休みだ」というように、「9月になる」というデキゴトとして認知される解釈があることになる。モノ解釈が「含む」解釈で、デキゴト解釈が「含まない」解釈

と考えられる。

しかし、定延（2022）では、①モノと認知すると「～いっぱいまで」という前接語の終点と解釈するのはなぜか、②デキゴトと認知すると「～になるまで」という前接語の始点と解釈するのはなぜか、という点について語られていない。たとえば、①には、モノとして認知しているのに、なぜ「最後の一瞬」という点的な表現で説明するのかという疑問点が、②には、「～終わるまで」、すなわち「最後の一瞬」も点的でデキゴトとして考えられそうだが、なぜ「開始直前」に限られるのかという疑問点がある。

さらに、扱う前接語の範囲にも疑問点がある。この解釈の問題は、大規模類、すなわち「数詞」の一部だけでなく、前接語に時間幅がある場合に生じると考えられる。本来、「まで」で示される時間的限界点は、「点」である。しかし、実際の表現上では、その点を明確に示す必要がなく、その時点を粗く捉えることができる。それが時間幅のある前接語によって表現されるのである。そのとき、前接語の捉え方に2種類あるということになる。

定延（2022）の関心は前接語の時間を表す数詞の認知の違いであるモノとデキゴトにあり、それによってこの「まで」の解釈の違いについて説明している。そのため、「数詞」を扱っているのである。それに対して、本稿の関心は、助詞「まで」そのものにあり、扱うべき前接語の範囲を「時間幅のある前接語」と考える。

たとえば、次のような例についても扱うことになる。文化庁（2022）では、時間表現におけるあいまいな表現の例として、（7）を挙げている。

（7）本日から春休みまで → 本日から春休み開始まで／本日から春休みが終了するまで

【文化庁（2022）】

本稿では、このような「時間幅のある前接語」も扱うために、別の観点を検討する。

2.2 本稿の観点

本節では、「含む」「含まない」解釈が、それぞれ、順序集合と量的表現という「まで」の用法と同じ特徴を持つことを示す。それによって、解釈の名称の変更をし、扱う考察対象を明確にする。

奥津（1996）は、「まで」の用法の一つで、「から」と対応するような用法を順序助詞と呼び、その中を順序集合と量的表現に分けている。（8）が順序集合の例、（9）が量的表現の例である。

（8） 4つまで買えます。 （順序集合）

（9） 4L まで増えた。 （量的表現）

この（8）は、分割可能で非連続な要素の集合である。「1つ、2つ、3つ、4つ、のいずれかの数を買えます」とすべて数え上げることできる。そこで「まで」を使えば、その集合の一番後ろの要素だけあげていることになる。物の数の限度を示す用法の他に、項目を挙げる用法がある。「まで」で示される範囲内にあるものが、順序のある分割された要素である。

一方、（9）は、分割不可能で連続的な要素から切り取られた量である。量は連続的な要素であるから、ペットボトルのような容器に入れない限り、「1L、2L・・・」のように数え上げることはできない。範囲の終点を示すために「まで」を使用する。物の量の限度を示す用法の他に、距離や期間、割合を示す用法がある。「まで」で示される範囲内にあるものが、非分割で連続的な要素である。

ここで、「4月まで」の例について改めて考える。まず、「4月」は分割可能な要素であるという見方ができる。たとえば「4月まで」といえば、「・・・、1月、2月、3月、4月」と言い換えが可能である。これは、順序集合の特徴である。そして、順序集合である「4つまで買えます」では、1234は買ってよい数だが、5678・・・は買ってよい数ではない。前接語の後ろに隔たりがある。この特徴を持つのは、「含む」解釈で、モノ解釈とも共通している。

一方、「4月」は4月が共通している範囲（4月1日～4月30日）の開始

点を示していると見ることができる。開始点を示すのだから、「含まない」解釈、デキゴト解釈と共通していることになる。なお、これは、量的表現に共通している見方であるといえる。たとえば、「12時」といえば、12時00分を指していると考えられるため、「12時」が共通している範囲（12時00分～12時59分）の開始点を示しているといえる。同様に「4L」が表すのも4.0Lであり、4.1Lではない。すなわち、「4L」は、一の位に4が共通する範囲（ $4.0 \leq x < 5.0$ ）の開始点である。奥津（1996）は、「量的表現」の前接語を、「まで」によって切り取られた「量的表現」の終点と見る。しかし、本稿では、共通している範囲の開始点という見方もする。これによって、量的表現は、前接語と後続要素の間に隔たりがないとみることができ、順序集合と対比することができる。

このように、時間的限界点を表す助詞「まで」には、順序集合としての解釈と、量的表現としての解釈がある。そして、時間的限界を表す用法は量的表現であるから、量的表現の中に、順序集合の特徴を持つ解釈と、量的表現の特徴を残した解釈がある、ということになる。前者を〈順序集合解釈〉、後者を〈量的表現解釈〉と呼ぶ。そして、この解釈の問題は、量的表現のうち、前接語に幅のある場合に生じることになる。これが本稿の考察対象（表2の太枠）である。

【表2】 本稿の考察対象

「まで」の用法	前接語の時間幅	解釈	含む・含まない	用例
順序集合	幅あり・なし			(8)
量的表現	幅あり	〈順序集合解釈〉	含む	(1)(6)(7)
		〈量的表現解釈〉	含まない	(2)(6)(7)
	幅なし			(9)

なお、「時間幅のある前接語」には、始点終点の両方が存在する場合と、始点と終点のどちらかが存在しないとも言える状況にあることによって始点終点のどちらかに後接述語の事態の限界点を必ず合わせる場合が存する。前者は3節、後者は4節と、節を分けて論じる。

3 どのような場合に〈順序集合解釈〉ができるか

3.1 〈順序集合解釈〉のなりやすさ

〈順序集合解釈〉ができるためには、順序集合の特徴を満たす必要がある。

では、順序集合と量的表現についてどのような違いがあるだろうか。それは、前接語が後続要素との序列を持っているかどうかである。なお、ここでの序列とは、上下や優劣は含意せず、規則的な配列や方向が存在するという意味である。

まず、序列は要素と方向の2つに分けることができる。すると、順序集合は、要素が非連続で、それが特定の方向によって並べられているもの、と説明できる。そのため、それぞれの要素が、方向によって関連していなければならない。すなわち、前接語と他の要素とが、同じ方向を持っていないと、序列を満たすことができないのである。

一方、量的表現は、要素が連続的である。このとき、時間表現であれば、時間軸（過去↔未来）という方向がすでに存在している。すると、前接語が時間軸上にあれば、序列を満たしていることになる。すなわち、他の要素が必要ないのである。

そのように考えると、「序列を持っている前接語」というタイプの前接語がある。これは、順序集合の特徴（前接語が後続要素との序列を持っている）を既に満たしている。たとえば、数詞やいくつかの時間名詞である。これらは、数字や、特定の文化が規定した順番を持つ。たとえば、曜日は、月→火→水→木→金→土→日→月という序列を持つ。季節（春→夏→秋→冬→春）や一日の時間帯（朝昼夜、午前午後など）、昨日→今日→明日なども同じである。

一方、「序列を持っていない前接語」もある。まず、デキゴト名詞がある。たとえば、「会議、授業、講義、休暇」などである。次に、ある時間表現を表すが、序列を持たない場合である。たとえば「給料日」「夏休み」などである。

この前接語の2タイプは〈順序集合解釈〉のなりやすさが異なると考えら

れる。序列を持っている前接語は、〈順序集合解釈〉になりやすい。一方で序列を持っていない前接語は、〈順序集合解釈〉になりにくい。しかし、それぞれ特定の条件下で、別の解釈も可能になる。

そのため、序列を持っている前接語については、〈順序集合解釈〉がどのように取り消されるかを考えることになる。また、序列を持っていない前接語については、〈順序集合解釈〉をするための条件を整理することになる。

3.2 序列を持っている前接語

本節では、序列を持っている前接語の例である「～曜日まで」について、現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）で用例を集め、多くが〈順序集合解釈〉になることを確認し、〈順序集合解釈〉が取り消される場合について考察する。その後、他の序列を持っている前接語の例も挙げ、確認していく。

BCCWJにおいて、文字列検索で「曜日まで」と検索して得られる例が145件ある。そこから、「まで」の後ろに、「に：17例」「の：8例」「は：4例」「と：2例」「だ：2例」「で：1例」「しか：1例」が来る例を除き、「～から～まで：55例」を除く。また、否定表現とともに用いた例：9例、「～までも」「～さえ」と言い換えられる、とりたて用法の例：4例、述語に「まで」が来る例：1例。以上の計104例を除き、残る41例を扱うこととする。

では、第一に、前接語について考察する。

まず、多くの例が〈順序集合解釈〉であることがわかる。そのため、「～曜日」のような序列を持っている前接語は〈順序集合解釈〉になりやすいと言えるだろう。たとえば、以下のような例があり、次のような理由から解釈できる。(10)は火曜日に投稿されている。(11)では、水曜日に「事実無根」、木曜日に「魔法省侵入」、金曜日に一転して「発表」という流れであろうから、あえて、水曜日に請け負っていないという解釈は必要ないだろう。

- (10) 6月十日 (火) 今週も火曜日まで終わりましたね^-^v みなさんはどのような一日をお過ごしになりましたでしょうか？

【BCCWJ：OY03_01263 140 Yahoo! ブログ Yahoo! 2008】

- (11) 『『例のあの人』が再び身近で画策しているというしつこい噂は、事実無根』と、ついこの水曜日まで魔法省が請け合っていただけに、この発表は、魔法界を仰天させ、困惑させている。魔法省がこのように言を翻すに至った経緯はいまだに霧の中だが、「例のあの人」とその主だった一味の者（『死喰い人』として知られている）が、木曜の夜、魔法省そのものに侵入したのではないかと見られている。
【BCCWJ：OB 6 X_00161 4140 ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 静山社 2004】

しかし一方で、「月曜日」と「日曜日」では、〈量的表現解釈〉に偏っていることがわかる。たとえば、以下のような例があり、次のような理由から解釈できる。(12) では、良い週末を、とある。この段階でそういうなら、週末にブログを書くことはないのだろう。(13) は、日曜日に義両親が帰ってくることになっている。

- (12) 体調不良のため来週月曜日までブログをお休みします 皆さん、良い週末をお過ごしください

【BCCWJ：OY05_04639 130 Yahoo! ブログ Yahoo! 2008】

- (13) 彼の家で留守番中に、大量のほうれん草を頂きました。彼の両親が帰ってくるのは今度の日曜日です。このまま放置したら、悪くなってしまうと思うのですが、日曜日まで状態よく保存しておく方法はありますか？

【BCCWJ：OC08_07551 760 Yahoo! 知恵袋 Yahoo! 2005】

解釈が偏るのは、月曜日と日曜日が「平日」と「休日」の開始点であるため、「～になる」という〈量的表現解釈〉が起きやすいから、と考えられる。このように、前接語が序列を持たない範囲のはじまりであるという文脈があると、〈順序集合解釈〉は取り消される。しかし、前接語によって必ず解釈が決まるわけではない。(14) は、月曜日から天気が悪くなったのだから、

日曜日は晴天だったのだろう。〈順序集合解釈〉である。逆に言えば、この日曜日は、「週末」と共起しており、「休日」の開始点ではなく休日の終了点として機能している。

(14) 五月二十四日、月曜日、ワシントンは一日肌寒く、雨が降っていた。

週末は日曜日まで晴天が続いたが、その晩から水平線に雲が厚く重なってきて、穏やかな天候もそれまでだった。

【BCCWJ：LBq9_00206 390 原潜919浮上せず 早川書房 2002】

さて、他の前接語でも同様に考えられる。

(15) 入園までの間、子供を見てくれる人がいないんですがその場合は民間の託児所にでも預けて4月まで乗り切るんでしょうか？【(2)の再掲】

この「4月」は、「入園日」「新年度のはじまり」と同義である。このとき、後続要素である5月との序列を想定していない。一方で、(16)の4月はそのような文脈はないため、〈順序集合解釈〉ができる。

(16) 4月まで公開されていたと思うのですが、5月は上映されていないのでしょうか？

【BCCWJ：OC01_00310 810 Yahoo! 知恵袋 Yahoo! 2005】

このように、〈順序集合解釈〉を取り消すためには、前接語が、後接述語の事態が継続している状況から新しい状況に変化する節目であることが重要であると考えられる。次の(17)も、小学校・中学校・高等学校では9月が「新学期のはじまり」であるから、「9月になるまで」という解釈が可能になるのである。さらに、(18)は、春が「暖くなる季節」であるから、「春になるまで」という解釈が可能になるのである。

(17) その学校は、9月まで夏休みだ。【(6)の再掲】

(18) 葉は秋に枯れてくるので、春までおき3～4月の頃に植えつけます。

【BCCWJ：LBp6_00029 43390 草花 家の光協会 2001】

第二に、後接述語について考察する。〈量的表現解釈〉とした例の後接述語に「我慢する」「待つ」「(数詞)だ」の類が多い。たとえば、以下のような例があり、次のような理由で解釈ができる。(19)(20)は通常の診療日の始まりで、救急との対比がある。(21)は学生の投稿と考えられる。(22)は、月曜日に保険を解約→火曜日に泥棒に入られたふりをする→水曜日の朝に宝石を回収、という時系列で、「火曜日になるまで」の意味である。

(19) 月曜日まで待って近くの小児科に行けばいいと思いますか？明日は日曜日なので救急で市民病院に行ったほうがいいのでしょうか？

【BCCWJ：OC10_01183 2780 Yahoo!知恵袋 Yahoo! 2005】

(20) 月曜日までがまんできないようでしたら緊急で病院にいけばとりあえず痛み止めの座薬をくれると思います。

【BCCWJ：OC09_03841 2620 Yahoo!知恵袋 Yahoo! 2005】

(21) 月曜日まであと4日！

【BCCWJ：OY14_44469 5050 Yahoo!ブログ Yahoo! 2008】

(22) 「あなたは泥棒に入られたふりをするのに火曜日まで待った。もしあなたが月曜の夜に、つまり保険を解約したその日に行ったら見え見えになることを知っていたからだ。水曜の朝、あなたは機会をみつけて、ツバメの巣から宝石のほとんどを回収した。

【BCCWJ：PBIn_00020 33820 ペリー・メイスン 岩崎書店 2001】

さて、他の前接語でも同様に考えられる。

(23) 遊びに行くのは4月まで我慢する。

(24) 夜まで待つ。

(25) 1月1日まであと5日。

(26) ことし、平成八年を迎えまして、いよいよ二十一世紀まで残すところ五年というところにやってきました。

【BCCWJ：OM51_00003 1040 国会会議録 1996】

これらには、新しい状況への変化を求める述語という共通点が見いだせる。「我慢する」「待つ」は、我慢した後、待った後に何かすることが期待される。また、「(数詞)だ」は、「あと～」「残すところ～」の表現とともに使われていることからカウントダウンの形式と考えると、新しい状況への変化を求めると考えられる。

以上のことから、〈量的表現解釈〉と相性が良いのだと考えられる。

一方、〈順序集合解釈〉とした例に、「続く」の類が多く見られる。これは、変化を示さない表現のため、〈順序集合解釈〉と相性が良いのだと考えられる。(27) は水曜日との対比が見られる。(28) は記事によると、実際に水曜日から休校になっている。

(27) 火曜日まで五日間熱が続きました。…(中略)…幸い水曜日には熱は出なくて治ったと思っていました。

【BCCWJ：OC10_01183 860 Yahoo!知恵袋 Yahoo! 2005】

(28) 《午後2時。》5時間目の初めに各担任が児童に火曜日まで学校が続くことを説明した。野島教諭も6年3組でそう告げると、マスク姿の子どもたちの緊張した面持ちが一気に和らぐのを感じた。「残された時間を大切にしよう」

【朝日新聞クロスサーチ：2020年03月06日 朝刊 埼玉首都圏・1地方 休校延期、心整えた「2日間」 市立戸田第二小の姿を追う 新型コロナウイルス／埼玉県】

第三に、修飾語・共起する語に注目する。

まず、〈量的表現解釈〉とした例に、「来週の」「次の」が目立つ。

- (29) 来週の月曜日までお休みって言ってたけど… きっと明後日まだ
いる www と踏んでみた♪

【BCCWJ：OY05_04938 29540 Yahoo! ブログ Yahoo! 2008】

- (30) 明日の練習はもちろん、その次の日曜日まで待っても、マメは固
まらないだろう。

【BCCWJ：LBs9_00091 28740 口笛吹いて 文藝春秋 2004】

これは、より幅の大きな時間単位を想定させる修飾と言える。(29) (30) の場合、序列の間隔が一週間になる、すなわち、「月曜日→火曜日→水曜日」という順序が失われることで、〈順序集合解釈〉になりにくくなる。他にも、(31) では、「火曜日まで」は〈順序集合解釈〉であるが、「次の水曜日まで」は〈量的表現解釈〉である。また、(32) のように、「来年の～」でも同様のことが言えると考えられる。

- (31) たとえば、火曜日まで3ドルだったカボチャ印のタグがついた商品
はすべて、水曜日になると2ドルに下がる。次の水曜日まで待
てばもっとお得だが、先に誰かに買われてしまうかもしれない。

【朝日新聞クロスサーチ：2016年06月28日 デジ専 《朝日新聞デジ
タル》(特派員リポート@プノンペン) 猫さんとカンボジアで疾走
する古着屋さん】

- (32) あたたくくなる来年の春まで、しばらく休んでまつのです。

【BCCWJ：LBt3_00054 5470 きせつ 学習研究社 2005】

一方、〈順序集合解釈〉とした例に、「～間」が目立つ。(27) の他に、次のような例がある。

- (33) 日曜日まで三日間、白い象は眠りつづけました。

【BCCWJ：LBln_00034 37290 象さんの素敵な生活 ほるぷ出版
1997】

- (34) 日曜日まで十一日間連続勤務という荒行をこなしております間に研修期間も終了いたしまして、本日の勤務から独り立ちでございます。

【BCCWJ：OY11_04646 1300 Yahoo! ブログ Yahoo! 2008】

「続く」と同様に、変化を示さない表現のため、〈順序集合解釈〉と相性が良いのだと考えられる。

以上をまとめると、次のようになる。

- [A] 序列を持っている前接語の場合、「～いっぱいまで」という〈順序集合解釈〉になりやすい。また「続く」のような変化を示さない後接述語や、「～間」と共起しやすい。
- [B] 前接語が序列を持たない範囲のはじまりである場合、〈順序集合解釈〉が取り消されて、「～になるまで」という〈量的表現解釈〉になる。また、新しい状況への変化を求める後接述語の場合、より幅の大きな単位を想定させる修飾語がある場合は、前接語が序列を持たない範囲のはじまりであることを示しやすく、〈順序集合解釈〉が取り消されて、〈量的表現解釈〉になりやすい。

3.3 序列を持っていない前接語

以下のような例は、序列を持っていない前接語における、「～になるまで」という〈量的表現解釈〉の例である。

- (35) 会議まで本を読んで待つ。
- (36) 当の犬たちは、眠い時間を起こされて連れていかれても、怒りもせず、いねむりしながらお年寄りの相手をしている。そして、家に帰ると、夕方の散歩までぐったりと、眠っている。それなりに気疲れをするらしい。

【朝日新聞クロスサーチ：1999年05月07日 朝刊 1家 犬のボランティア（ひととき）】

- (37) 周囲からはすぐにでも休んだ方がいいのではと言われました。悩みましたが、今後の生活費などを考慮し、産前休暇まで働くことにしました。

【朝日新聞クロスサーチ:2020年08月04日 朝刊 オピニオン 2 (声)
妊婦がコロナ禍で働く不安 【大阪】】

- (38) 給料日まで待ってくれ。
- (39) 「芦田、なんだい、そのおいしい儲け話ってというのは？いいアルバイトでもあるのかい？」もう夏休みまで、あと十日そこそこだったのだ。「誘拐だ」芦田は、ばかにためらうようすもなくいった。
- 【BCCWJ：LBb9_00084970 梶龍雄 男と女の探偵小説 光風社出版 1987】

しかし、同じ前接語でも〈順序集合解釈〉になる場合もある。前接語を序列の中に配列する場合である。

たとえば、スケジュール表を想定してみる。そのとき、前接語に序列の後続要素が想定できる場合は〈順序集合解釈〉をすることができる。次の例は、両方の解釈が可能である。

- (40) 会議までいるつもりだ。

会議を終えたら、「懇親会」がある、というように、会議後にある別の動作との序列を想定すれば、〈順序集合解釈〉になる。逆に、「ここにいるつもりだ」という意味であれば、会議の後に何をするかは不明で、想定していないため、〈量的表現解釈〉になる。

デキゴト名詞以外でも、同様に後続要素を考えればよい。次の例は、〈順序集合解釈〉である。

- (41) 5月から夏休みまで使えるクーポンを配信中。

レジャー施設などに行きにくくなる「夏休み明け」という後続要素が想定できる。

また、「次の」「さっきの」など、序列を想定しやすい修飾があると、〈順序集合解釈〉になりやすい。

(42) 次の会議までいるつもりだ。

(43) さっきの会議までいた。

なお、序列を持っている前接語（3.2節）では、「次の」があると〈順序集合解釈〉が取り消されていたが、それは、序列を持っている前接語は、日→週→月→年というように、時間単位の粗さを変えられるからである。そのため、「次の」によって後続要素が変わることで、序列を想定しづらくなるのである。一方、序列を持っていない前接語で「次の」を用いると、前接語の事態が複数あったり、スケジュールの一部だったりすることになるので、序列を想定しやすくなる。

以上をまとめると、次のようになる。

〔C〕 序列を持っていない前接語は、「～になるまで」という〈量的表現解釈〉になりやすい。

〔D〕 前接語が後続要素との序列を想定できる場合、〈順序集合解釈〉になる。また、序列を想定しやすい修飾語があると、〈順序集合解釈〉になりやすい。

4 始点終点のどちらかに限界点を必ず合わせる場合

本節では、幅を持つ前接語のうち、始点終点のどちらかに限界点を必ず合わせる場合について述べる。

まず、始点に限界点を必ず合わせる場合について述べる。次のような例がある。

- (44) 窓際のクーラーの吹き出し口に仲間の分と合わせて並べ、食後まで冷たさを保つのが関谷流だ。

【朝日新聞クロスサーチ：2004年07月18日 朝刊 鹿児島2 元気の源、球児の夏 高校野球 /鹿児島】

- (45) 殖やすに関しては、50代以下だと老後まで10年単位の期間があり、長期の積み立て投資を進めやすい。

【朝日新聞クロスサーチ：2022年04月04日 夕刊 夕刊 F 月曜 2 面 (Another Note) 老後の資産寿命どう延ばす、稼ぐ・削る・殖やすの工夫 中川透】

「食後」「老後」のような「～後」は範囲の終点があいまいである。この場合、前接語の始点に後接述語の限界点を合わせるしかない。終点と呼べる時点が前接語に存在しないからである、〈量的表現解釈〉であると言って良いだろう。

一方、終点に限界点を必ず合わせる場合もある。

- (46) 収穫は今月まで続く。

【朝日新聞クロスサーチ：2010年06月01日 朝刊 大分全県・1 地方 麦の収穫始動、愛飲家ゴクリ 宇佐 /大分県】

未来について述べる場合の「今日」「今月」などは、〈順序集合解釈〉になる。始点と呼べる時点が前接語に存在していないわけではないが、すでに今月の始点は過ぎているため、終点に限界点を合わせるしかない。これは、真に〈順序集合解釈〉といえないとも思われるが、前接語の終点に後接述語の限界点があるので、〈順序集合解釈〉に含める。

前接語を分類すると、幅のある前接語の中に、終点があいまいな前接語と始点終点が揃っている前接語があることになる。そして、始点終点が揃っている前接語の中に、始点が過ぎている場合がある。

以上をまとめると、次のようになる。

- [E] 明確な終点が存在しない場合のような、始点に限界点を必ず合わせる場合があり、〈量的表現解釈〉になる。終点があいまいな前接語である。
- [F] 始点がすでに過ぎている場合のような、終点に限界点を必ず合わせる場合があり、〈順序集合解釈〉になる。始点終点が揃っている前接語である。

5 結論

本稿は、時間的限界点を表す助詞「まで」において、後接述語の事態の範囲に前接語を「含む」場合と「含まない」場合について考察した。以下の①～⑤のように考察をまとめることができる。

- ①量的表現で、前接語に時間幅がある場合に、「～いっぱいまで」と解釈できる〈順序集合解釈〉、「～になるまで」と解釈できる〈量的表現解釈〉の2種の解釈が生じる。
- ②前接語に2タイプある。序列を持っている前接語と、序列を持っていない前接語である。前者は〈順序集合解釈〉になりやすい。後者は〈順序集合解釈〉になりにくい。
- ③序列を持っている前接語について、次の点が指摘できる。

[A] 序列を持っている前接語の場合、「～いっぱいまで」という〈順序集合解釈〉になりやすい。また「続く」のような変化を示さない後接述語や、「～間」と共起しやすい。

[B] 前接語が序列を持たない範囲のはじまりである場合、〈順序集合解釈〉が取り消されて、「～になるまで」という〈量的表現解釈〉になる。また、新しい状況への変化を求める後接述語の場合、より幅の大きな単位を想定させる修飾語がある場合は、前接語が序列を持たない範囲のはじまりであることを示しやすく、〈順序集合解釈〉が取り消されて、〈量的表現解釈〉になりやすい。

- ④序列を持っていない前接語について、次の点が指摘できる。

[C] 序列を持っていない前接語は、「～になるまで」という〈量的表現

解釈) になりやすい。

〔D〕 前接語が後続要素との序列を想定できる場合、〈順序集合解釈〉になる。また、序列を想定しやすい修飾語があると、〈順序集合解釈〉になりやすい。

⑤始点終点のどちらかに限界点を必ず合わせる場合がある。

〔E〕 明確な終点が存在しない場合のような、始点に限界点を必ず合わせる場合があり、〈量的表現解釈〉になる。終点があいまいな前接語である。

〔F〕 始点がすでに過ぎている場合のような、終点に限界点を必ず合わせる場合があり、〈順序集合解釈〉になる。始点終点が揃っている前接語である。

以上、①～⑤をまとめたものが、次の表3である。

【表3】 前接語のタイプと〈解釈〉

		前接語のタイプ			
		時間幅のある前接語			
		始点終点が揃っている			終点があいまい
		終点に限界点を必ず 合わせる場合	序列を持っている前 接語	序列を持っていない 前接語	始点に限界点を必ず 合わせる場合
実 際 の 解 釈	順 序 集 合 解 釈	〔F〕 始点がすでに過 ぎている場合 ・未来について述べ るときの「今月」「今 年」	〔A〕 なりやすい ・「続く」 ・「～間」	〔D〕 前接語が後続要素と の序列を想定できる 場合 ・序列を想定しやすい 修飾語	×
	量 的 表 現 解 釈	×	〔B〕 前接語が序列を持た ない範囲のはじまり である場合 ・より幅の大きな単位 を想定させる修飾語 ・新しい状況への変 化を求める後接述語	〔C〕 なりやすい	〔E〕 明確な終点があ いまいな場合 ・「～後」

なお、前接語が動詞である場合や後接述語が否定表現である場合、時間的限界点以外の「まで」の用法については、今後の課題としたい。

参考資料

『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』(国立国語研究所, 中納言2.6.0, データバージョン 2021.03)

『朝日新聞クロスサーチ』(朝日新聞社, 最終閲覧日: 2023/04/23)

言及文献

奥津敬一郎 (1996) 「『マデ』『マデニ』『カラ』- 順序助詞を中心として -」『拾遺 日本文法論』ひつじ書房

北澤 尚 (2017) 「文法指導と文法的思考 - 助詞・助動詞, 形容詞・形容動詞について -」『東京学芸大学紀要人文社会科学系 I』68, 東京学芸大学

木村 恭造 (1983) 「『まで』の範囲は、どこまでか」『解釈』29-9, 解釈学会

木村 恭造 (1984) 「助詞『まで』の示す範囲について」『京都教育大國文学会誌』19, 京都教育大学

定延 利之 (2006) 『日本語不思議図鑑』大修館書店

定延 利之 (2022) 「モノとデキゴトに基づく日中の時空間イメージ」『中日理論言語学研究会第54回研究会発表論文集』(講演資料 PDF, 2022.06.17 最終閲覧)
https://www1.doshisha.ac.jp/~cjt1210/data_1/54_sadanobu.pdf

塩田 雄大 (2005) “「20日まで出て参りません」の意味は?”, NHK 放送文化研究所 最近気になる放送用語 (インターネットサイト, 2023.05.05 最終閲覧)
<https://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/term/091.html>

東郷 吉男 (1985) 「『○○駅まで停まりません』—否定表現と対応する『まで』の示す範囲について—」『解釈』31-3, 解釈学会

文化庁 (2022) 「公用文作成の考え方」(資料 PDF, 2023.09.10 最終閲覧)
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93651301_01.pdf

森 篤嗣 (2010) 「『まで』と『までに』の肯否体系について」『日本語／日本語教育研究』10, 日本語／日本語教育研究会